

瞬く間に

濁る水の舟の舟とて

目を離さず

見定めて進むに

自分の発する言葉が

人の算に

心に描いた通り

未来は拓かれる

人の類に

誰かの手から

命の石と燃やす

私とあの人の

妙峰

